

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方法</p>	<p>研究の名称 手術患者における SpHb の精度</p> <p>研究の対象 2019年7月～2021年6月に当院で手術麻酔を受けた方のうち 50例</p> <p>研究の目的 従来、血中のヘモグロビン量を把握するためには、皮膚・血管を針で刺すなど侵襲的な検査を必要とした。特に手術中は、予期せぬ大出血をきたすこともあり、頻回な採血によるヘモグロビン値の把握は欠かせない医療行為の一つである。近年、連続的に非侵襲的にヘモグロビン濃度（SpHb）をモニタリングすることが可能になった。出血のリスクの高い患者に対して非侵襲的、連続的、かつリアルタイムに把握することで、輸血の的確な効果判定、過剰輸血を防ぐことができ、結果的に医療経済的にも恩恵をこうむる可能性がある。 今回我々は SpHb トレンドモニタリングの評価を行い、周術期における輸血の減少へ貢献できる可能性について検討を行いたい。</p> <p>研究の期間 2019年7月から2021年6月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 情報：麻酔記録（研究対象者背景、身体所見、臨床検査、輸血量、輸液量、尿量のデータなど）</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用する者の範囲</p>	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者 共同研究機関なし</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>研究責任者 浜松医科大学 集中治療部 御室総一郎</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：集中治療部 担当者：御室総一郎 TEL：053-435-2111</p>